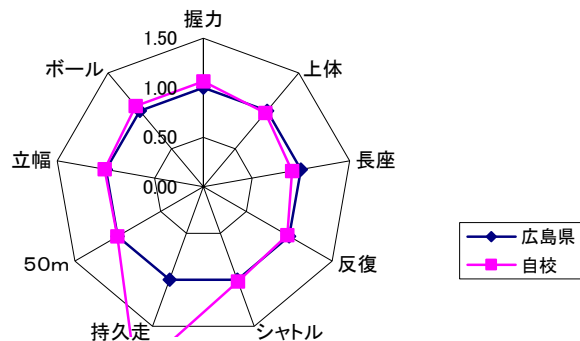


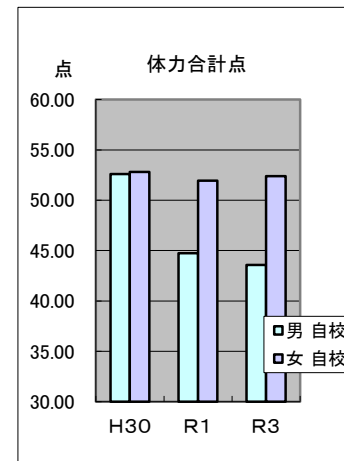
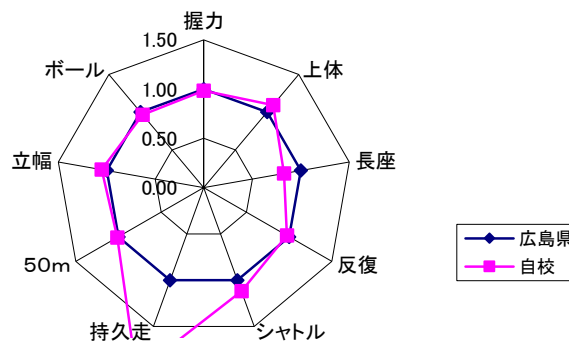
男子の体力合計点 学校 43.58点 県平均 43.19

体力・運動能力調査比較(中2男子)



女子の体力合計点 学校 52.38点 県平均 50.88

体力・運動能力調査比較(中2女子)



R3体力・運動能力調査の結果と分析

結果と分析 (全学年の状況も踏まえて記入すること)

- ① 50m走(呉市の課題種目)
 - ・呉市と比較すると、2年男子が0.13秒下回っている。2年女子が0.02秒上回っている。
 - ・走る姿勢、腕ふりが小さいことや地面への接地時間が長く、膝を前に出す技能が身に付いていない。特にピッチ走を多く取り入れたい。
- ②(中学校区の課題種目)
 - ・男女ともに、全国平均2点以上と下回っている。コロナ禍で部活動時間の制限や体育に授業など生活全般で多くの制限があったことで、身体を動かすこと自体減少しているように感じる。
- ③(自校の課題種目)
 - ・特に男子は、全国平均-5cm、女子は-8cmと下回っている。コロナ禍で部活動時間の制限や体育に授業など生活全般で多くの制限があったことで、身体を動かすこと自体減少しているように感じる。自宅でゲーム等の使用時間が長くなり筋肉の硬直、関節の可動域が狭くなっている。身体の使い方を学んでいく必要がある。

課題解決のための今後の取組及び数値目標

①呉市の課題種目 (50m走)	具体的な取組内容 ・保健体育の授業で、補強運動の中に膝を前に出す意識を高めるためにバウンディング、地面への接地時間を短くするために片足ダッシュ、マーカダッシュなど運動を取り入れる。 ・陸上競技(リレー・ハードル走)の指導において、同調走やミニハードルを使用したリズム走を取り入れる。
②中学校区の課題種目 (上体起こし)	具体的な取組内容(中学校区で1つ以上共通の取組を設定) ・3年生は継続的な指導の効果があったので、引き続き、毎時間の補強運動を行う。その他、体幹強化について指導を行う。 ・小中で連携し、児童生徒が意欲をもってできる数値目標を立てる。
③自校の課題種目 (長座体前屈)	具体的な取組内容 ・保健体育の授業を中心に、継続的に柔軟運動を行う。 ・各部活動で、長座体前屈など柔軟性を高めるトレーニングを導入していく。

※ 具体的な数値目標(記録の伸びを数値化)